

# SHIN CLUB 214

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「原宿 TW ビルディング」丹下健三の最高傑作、代々木第一体育館を正面に臨む 撮影：阿野太一

今月のトーク/monthly talk

## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新たな年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

本紙もおかげさまで創業以来、欠かすことなく発行し、この度 214 号を発行することができました。これも偏にお客様、特に建築家の先生方に様々な面で支えていただいた賜物と深く感謝申し上げます。

昨年の建設業界は、各社とも軒並み予想以上の成果をあげることが出来ました。しかし、「生活が良くなった」という実感は、時短を考慮しても、それほど感じられなかったのではないのでしょうか。

この好況感は、引き続き今年の秋口までは続くものと推察しています。しかし世界的な内向き思考や、様々な地域で問題が噴出しており、一寸先は闇という状況に変わりはありません。

また、今年には明治維新から 150 年、リーマンショックから 10 年の節目の年でもあり、且つ、「平成」最後の年ということから、大きな変化の年になることは必至であり、注視する必要があります。

そのような時勢下ではありますが、ZEN ホールディングスの目標、「地球上で最後まで生き残る会社」を弊社も当然目指してまいります。この目標達成のためには、磐石な財務基盤の確立はもとより、社員一人ひとりが、真剣に情熱を持って行動し、心からお客様に喜んでいただける仕事をしていく以外に道はないと確信いたします。

どうぞ、本年も社員一同、熱く挑戦して参りますので、引き続きご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2018 年 元旦

株式会社辰 代表取締役 森村和男



## 原宿 TW ビルディング



### モードに影響を受けないインフラのような建築

駅前の再開発が進む原宿。表参道の坂道の入口にある三角形の小公園に面して、テナントビルを建設する機会を得た。一昨年手掛けた、「キャピタル原宿 (2015)」(話題の電子タバコ「iQOS アイコス」の旗艦店が入る) のちょうど1区画駅寄りに、ほとんど同じ規模の建物を建てるという計画である。建て主からの要望は「時代を超えていくようなオーセンティックな建物を」とのことであった。時間がたつて廃れるものではなく、スタンダードな時間の経過に耐えうるようなものにしてほしいという願いである。

周辺は、若い女性や、海外からの観光客もかなり往来する繁華な通りだが、モード(流行)に影響を受けないインフラ(基盤構造)のような建築にしようと考えた。

「キャピタル原宿」は、1階をRC造、上層階を鉄骨造とし、そして全体を100φほどの鋼管で組んだ巨大なスペースフレームのような構造体とした。一方、「原宿TWビルディング」は、エレベーターコアと階段コアをRC躯体として、この2本の巨大柱で持たせている。1階は、正面側の通りや、こんもりとした木々を持つ小公園と一体となるように、5m近い天井高のガラスファサードとした。サッシは、溶融亜鉛メッキリン酸処理のハードな素材を採用している。また最上階の5階も、遠くの明治神宮、代々木公園の森の緑を存分に眺められるよう、開放感のある高い天井高にした。

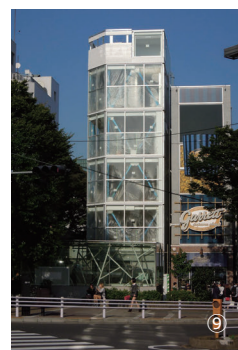
一方、2-4階は、目の前が緑豊かな小公園のため、2.5mくらいの通常の高さとし、既成のアルミサッシで対応している。1フロア、1テナントを想定はしているが、「キャピタル原宿」でも行ったように、2階の床を一部抜けるようにしてあるため、2フロアを1テナントで確保することも可能である。

ダイナミックに変わりゆく都市空間の中で、主張するのではない、インフラのように風景を支える普通の建物を提案する時代に入っている、と考えている。が、テナントによって、その現れ方は思うようにはコントロールできない。

(山下真平氏 談)



構造：RC造  
 規模：地下1階、地上5階  
 用途：物販店舗  
 設計・監理：北山恒、山下真平、江島史華  
 /architectureWORKSHOP  
 構造：江尻建築構造設計事務所  
 設備：団設備設計事務所  
 施工担当：山川、堀内  
 竣工：2017年9月  
 撮影：①～⑦阿野太一、  
 ⑧、⑨山下真平



①建物全景②5階、ポスト柱の鋼管は上階に行くほど細くなる③建物入口④4階⑤～⑦1階は前面の小公園と一体になる広場のような空間を目指した。サッシワークはそのコンセプトを実現するために注意深く設計している。が、その空間のあり方はテナントに委ねられている⑧建築以前の店舗。2区画が今回の建物に建て替わった⑨2015年11月完成した「キャピタル原宿」。テナント工事が入る直前、仮囲い足場が取れて数時間だけ現れたファサード。透明なガラスの内部に、100φほどの鋼管で組んだ巨大なスペースフレームのような構造体が透けて見えている



## 神宮前の家



### 神宮前に佇む邸宅

神宮前の静かな住宅街に計画された住宅であり、インテリアデザインの経験豊富な spinoff( スピンオフ ) が全体監修と設計で参画する協働プロジェクトであった。2 社で建て主とデザインや間取りについて打ち合わせを重ねることで、ご家族の生活のビジョンに輪郭を与えていった。

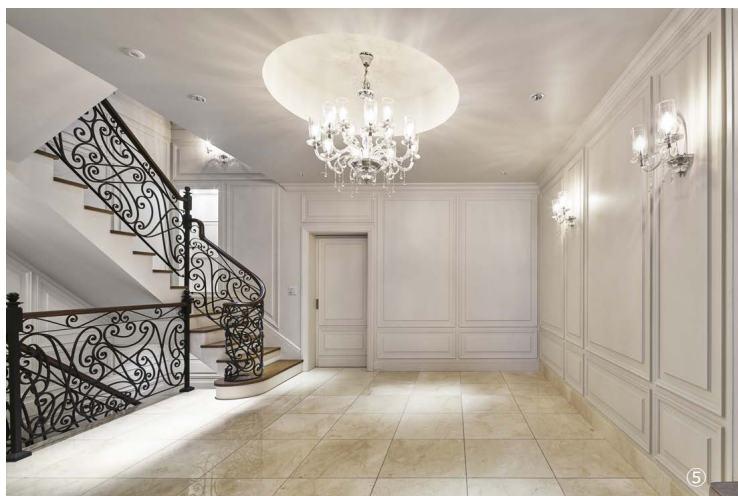
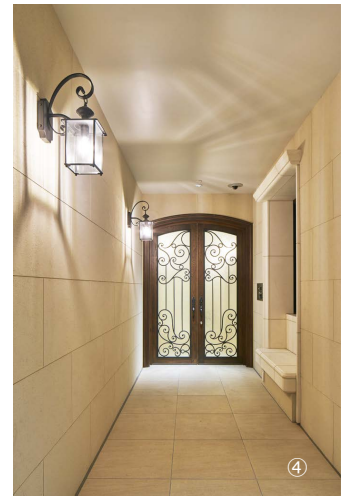
敷地は南北に細長く、北側が道路に面している。南側は空地に接していて日当たりも良いが、東西両脇には中層の集合住宅が敷地に迫るように建ち並んでいる。当初、建て主の希望では地上 4 層の建物であったが、プログラムを整理することで地下 1 層、地上 3 層の構成とし、斜線制限や日影規制をかわしながら、各階にゆったりとした天井の高さを確保した。

天井の高さを確保することの効果はいくつかあった。まず通風と間接光を含めた採光確保の助けとなっている。そしてプライバシーの確保である。各室の開口部の位置を、隣家の目線が気にならないよう自由に計画することが可能となった。そして、垂直方向にのびやかな空間をしつらえることで、物理的な装飾と空間のプロポーションが一体となって、海外の邸宅のような住空間を実現させている。

吹き抜けとなった階段室では、職人の手による特注のアイアン手摺や、アートの置かれたニッチや照明が雰囲気演出している。同時に、その吹き抜けが 1 階玄関ホールから 3 階のワンルームの LDK 空間を一つの空間として緩やかに繋ぎ留めている。

3 階キッチンに隣接してコートヤードのようなテラスを設けた。そこからさらに外部階段を登ると屋上テラスへとつながっている。その屋上テラスは、ご一家がバーベキューやパーティを楽しむ、都会の空を満喫できる空間である。

(植原雄一)



構造：RC 造 壁式構造 規模：地下 1 階、地上 3 階  
 用途：専用住宅  
 設計・監理：spinoff( スピン・オフ )、植原雄一建築設計事務所  
 担当：佐々木  
 竣工：2017 年 6 月  
 撮影：yasuhiro takagi

①建物外観②南向きの3階リビング③トップライトから陽射しが差し込む明るい階段④ゲートから玄関までのゆったりとしたアプローチ⑤1階ホール⑥屋上テラスにはベンチとテーブル、パラソルを設置



## 第3回イノベーション発表会

2017年12月2日

辰では、年に1度、全社員の創意工夫で会社をよりよくする「イノベーション発表会」を平成27年から実施しています。各部署で社内の問題を話し合いテーマを決めて、各チーム10分のプレゼンテーションを行います。合計8チームで、時間内であれば、人数、発表する案の数は自由となっています。

発表後は、相互に投票し、順位を競います。各グループ1票を持ち票とし、自分のチーム以外のグループに投票します。社長、役員がそれぞれ1票、審査委員長の吉田監査役が2票を持ち票とします。賞金は、最優秀グループ賞が10万円(1チーム)、優秀グループ賞が5万円(1チーム)、他の6チームが参加賞2万円、と否が応でも盛り上がります。

### <発表グループ>

3回目となる今回は、右記のメンバーが、発表を行いました。  
<投票結果>

同率で、工務部・工務部・工務部グループAチームの「辰オリジナル手帳」と工務部・営業部の「『遠隔みまもり』システムの導入」が1位。発表者の最後のお願いトークと会場挙手による多数決で、「辰オリジナル手帳」が見事優勝しました。

	発表グループ	発表者	発表タイトル
★最優秀G賞	工務部・工務部グループAチーム	鄭	「辰 オリジナル手帳」
★優秀G賞	工務部/営業部	若井	「『遠隔みまもり』システムの導入」
参加賞	リニューアル部	齋藤	「リニューアルの時短」
参加賞	工務部・工務部グループBチーム	村田、高沢、柿崎	第1案「ヘルメット変更提案」
			第2案「コンテナというツール」
参加賞	小関グループ	小林	「学生を対象とした現場見学会の開催」
参加賞	工務部・工務部グループBチーム	奥村、谷、岡本、大平	「施工図・申請書類 社内外注制度」
			「ノー残業デーの実施」
			「会社支給携帯のスマートフォン化」
参加賞	管理部	貞弘	「リアル人生ゲーム」
		新田	「カタログ福利厚生」
参加賞	工務部・工務部グループAチーム	堤、石川、齊藤	「辰のイメージチェンジ」
			「現場からの要望」
			「社内チーム対抗レクリエーション」



①発表者(代表)集合②ヘルメットの機能は、進化している③優勝した工務部グループの発表者、鄭。試作品を大判で作って、手帳に入れる内容を一つ一つ説明。スマホを入れるポケットをぜひ付けたいとのこと④審査委員長は吉田健司 辰監査役⑤わかりやすかった工務部の発表資料のパワポ⑥決選投票は会場全体の挙手で⑦若い社員の視点に感心。森村社長

### <審査委員長 講評> 吉田健司 辰監査役

プレゼンの上手下手はあっても、まずは発表の場を設けることが大切です。仕事をしていくには、今後もいろいろな場面があります。良いプレゼンテーションをするために、気が付いた点を整理してみました。



1. 配布資料の書式の統一  
サイズ、タテヨコのレイアウトがバラバラの資料を持ち寄るのではなく、必要記入事項も併せた基本の形を整える、つまり、「標準化」をしましょう。現場でもいろいろな書類作業を行っていると思いますが、生産性を上げ、情報を伝わりやすくするためには重要です。

### 2. 発表前のリハーサル

リハーサルは、最低3回はやってみましょう。5分しかない場合はその内容で、10分しかない場合はその中で収めるようにストップウォッチをもって、少し早めに終わるようにやってみましょう。

### 3. パワーポイントの使い方

文字情報が多すぎると伝わりにくいため、イラスト、写真、イメージをうまく配置し、特性を活かした情報の使い方を考えましょう。

### 4. グラフ、写真の使用

「ここが問題」という部分には、コメントを簡潔に差し込みましょう。技術系の学会などでよく見かけるのですが、グラフや資料を自分ばかりわかっていて、ただ説明するだけの人も意外と多いのです。ポイント部分を丸で囲む、文字情報を入れるだけで、意味が伝わります。



### 5. パソコンの使い方

発表する人は、そのソフトの特性に慣れておくようにしましょう。

### 6. 発表内容には具体的な数字を

何を言いたいのか、具体的に書くことが大切です。そしていくら良いイノベーションでも、ビジネスですから、基本的なコストパフォーマンスは抑えておきましょう。

### 7. パワポのアニメーション機能

多用すると中身が薄らぎますのでここぞというときだけ使いましょう。

### 8. 具体的なイメージを伝える

わかりやすさは大事です。最後に発表した手帳などは、試作品を作ってきて、とても良かったですね。今はなんでもデジタルですが、ときには思い切りアナログな方法で、実際のモノを見てもらうと効果があります。とにかく発表内容をわかりやすくすることは、審査員の客観的な評価を得ることにつながります。今後に活かしていただければと思います。



### <審査を終えて 森村社長>

今回、革新的なアイデアはあまりなかったけれども、改善の点では非常にいい案が見られました。即、実行できる案が多かったので、早急に役員会で諮って我々もできるものはスピード感を持って対応していきたいと思います。優勝した人も、できなかった人も、全員の発表を聞きながら、社員が一丸となれたことを、非常にうれしく思います。

### 編集後記

・新年あけましておめでとうございます。今年も「SHINCLUB」をよろしく願います。

(株)辰通信 Vol.214 発行日 2018年1月1日 編集人:松村典子 発行人:森村和男  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450  
E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp

「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーも掲載しています。  
http://www.esna.co.jp/shinclub  
スマホはこちらから →

